

# 第6回公認心理師試験 ブループリント変更一覧

河合塾KALS

(2023/1/12)

出題割合の変更	第5回試験	第6回試験
①～③ 公認心理師の職責	9%	6%
⑮ 心理に関する支援	6%	9%

大項目	中項目	第5回試験用	第6回試験・追加修正キーワード	
①公認心理師としての職責の自覚	(4)情報の適切な取扱い	・個人情報保護法関連5法	・個人情報の保護	
⑦知覚及び認知	(1)人の感覚・知覚の機序及びその障害	・注意, 意識	(中項目1から2に変更)	
	(2)人の認知・思考の機序及びその障害	(記載なし)	・自伝的記憶・展望記憶・日常記憶 ・物体認知	
⑧学習及び言語	(2)言語の習得における機序	(記載なし)	・言語学習理論, 社会語用論的アプローチ	
⑨感情及び人格	(1)感情に関する理論と感情喚起の機序	・感情に関する神経科学 ・認知的評価理論, 構成主義理論, 次元論, 基本感情論 ・感情の進化 ・感情の機能 ・感情, 情動, 気分	・感情(affect), 情動(emotion), 気分(mood), 主観的情感(feeling) ・感情の進化的基盤 ・感情の神経生理的基盤 ・末梢神経説, 中枢神経説, 二要因理論, 次元論 ・基本感情理論 ・認知的評価理論 ・感情の社会的構成主義理論 ・感情の心理的構成主義理論 ・ゾマティック・マーカー仮説	
		(2)感情が行動に及ぼす影響	・感情の表出 (記載なし) ・感情と認知・情報処理 (記載なし) ・感情制御 (記載なし)	・感情の表出(顔表情・発声・姿勢・行為傾向) ・表情知覚 ・感情と認知・情報処理バイアス ・感情の病理・障害 ・感情制御, 感情知性 ・ポジティブ感情(拡張-形成理論)
	(3)人格の概念及び形成過程	・状況, 認知, 感情, 行動 (記載なし)	・人格と認知, 感情, 行動 ・ストレス脆弱性 ・レジリエンス ・自尊感情(self-esteem)	
	(4)人格の類型, 特性	・5因子モデル	・5因子モデル, 6因子モデル(HEXACO)	
	⑩社会及び集団に関する心理学	(1)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程	・社会的アイデンティティ (記載なし)	・社会的アイデンティティ, 内集団, 外集団 ・ステレオタイプ, メタステレオタイプ
		(2)人の態度及び行動	・対人行動, 対人的相互作用	・対人魅力 ・自己呈示, 自己開示 ・社会的交換 ・協力と競争, 援助と攻撃
		(3)家族, 集団及び文化が個人に及ぼす影響	・不適切な養育	・不適切な養育(心理的虐待, 身体的虐待, 性的虐待, ネグレクト)
⑫発達	(1)認知機能の発達及び感情・社会性の発達	・感情制御, 自己制御 ・道徳性, 規範意識 ・実行機能 ・素朴理論 ・感情知性	・自己制御, 実行機能 ・感情制御, 感情知性 ・道徳性, 規範意識	
	(3)生涯における発達と各発達段階での特徴	(記載なし)	・キャリア発達	
	(4)非定型発達	(記載なし)	・可視的差異	
	(5)高齢者の心理社会的課題と必要な支援	・社会的離脱, 活動持続, 補償を伴う選択的最適化 (記載なし)	・社会的離脱, 活動持続, 補償を伴う選択的最適化, 社会情動的選択性理論 ・老年期超越	
	⑯健康・医療に関する心理学	(2)医療現場における心理社会的課題と必要な支援	・医療倫理, 患者安全	・医療倫理, 医療安全, 感染対策
(3)保健活動における心理的支援		(記載なし)	・妊娠・出産・育児	
(4)災害時等の心理的支援		・心理的応急措置<サイコロジカル・ファーストエイド>	・被災者の心身の反応 ・被災者への支援, 心理的応急措置<サイコロジカル・ファーストエイド>	
		・心のケアチーム, 災害派遣精神医療チーム<DPAT>	・医療・保健領域の災害支援チーム	

⑰福祉に関する心理学	(1)福祉現場において生じる問題とその背景	(全面的に表記が変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉の対象と問題(身体障害、知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害)</li> <li>・児童福祉の対象と問題(要保護児童、養育困難、児童虐待)</li> <li>・高齢者福祉の対象と問題(MCI、認知症、要介護、閉じこもり、フレイル)</li> <li>・社会福祉の歴史と動向・基本理念</li> <li>・社会福祉を担う機関・施設</li> <li>・関連する家庭・社会状況(少子高齢化、超高齢社会、貧困・低所得、一人親世帯、単身世帯、地域関係の希薄化、離婚・再婚家庭、外国籍の子ども、夫婦間暴力&lt;IPV&gt;)</li> </ul>
	(2)福祉現場における心理社会的課題と必要な支援	(全面的に表記が変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的問題(尊厳、権利擁護・アドボカシー、意思決定支援・意見表明権)</li> <li>・本人の心理社会的課題(抑うつ、不安、孤立、ひきこもり、閉じこもり、生活困窮、独居困難、施設入所体験、親との分離体験)</li> <li>・家族・関係者の心理社会的問題(育児ストレス、介護うつ、燃え尽き症候群&lt;バーンアウト&gt;、離職・人手不足、二次的外傷)</li> <li>・福祉現場における支援の基本(ソーシャル・インクルージョン、エコロジカルモデル&lt;生態学的モデル&gt;、多職種連携・協働、コンサルテーション、コラボレーション)</li> <li>・心理的アセスメント(発達、メンタルヘルス、家族関係、認知機能)</li> <li>・心理的手法を用いた支援(カウンセリング、ソーシャル・スキルズ・トレーニング&lt;SST&gt;、認知リハビリテーション、心理教育、回想法、遊戯療法、芸術療法、家族支援・家族療法)</li> <li>・施設・制度を活用した支援[社会的養護(施設養護・里親制度)、子育て支援、セルフヘルプグループ、地域包括支援センターとの連携、就労支援、生活保護、配偶者暴力相談支援センター]</li> </ul>
	(3)虐待、認知症に関する必要な支援	(全面的に表記が変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待の定義・分類・動向と背景</li> <li>・虐待対応の仕組みと通告・相談</li> <li>・虐待が与える心理・発達の影響(心的外傷後ストレス障害&lt;PTSD&gt;、愛着・アタッチメントの課題、脳や心身の発達への影響)</li> <li>・被虐待児(者)への支援[被虐待児(者)への心理療法、生活の中の治療、リビングケア、教育機関・関係機関との連携]</li> <li>・虐待者の心理と支援・再発予防</li> <li>・家族支援・親子関係再構築支援</li> <li>・虐待の発生予防と在宅支援</li> <li>・認知症の概念・定義・分類・動向</li> <li>・代表的な認知症疾患(Alzheimer型認知症、血管性認知症、Lewy小体型認知症、前頭側頭型認知症、治療可能な認知症)</li> <li>・心理学的支援(回想法、認知リハビリテーション、心理教育、芸術療法、介護者支援、パーソンセンタード・ケア)</li> <li>・本人・家族・介護者の心理</li> </ul>
⑱教育に関する心理学	(2)教育現場における心理社会的課題と必要な支援	(記載なし)	・教職員のメンタルヘルス
⑲司法・犯罪に関する心理学	(2)司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援	・反抗挑発症/反抗挑戦性障害, 素行症/素行障害, 反社会性パーソナリティ障害	・非行犯罪の心理発達の背景
		(記載なし)	・各種処遇プログラム
⑳産業・組織に関する心理学	(1)職場における問題に対して必要な心理的支援	・キャリア形成, キャリア支援	・キャリア形成, キャリア支援, 人的資源管理
		・ワーク・エンゲイジメント	・ポジティブメンタルヘルス
		・関係者へのコンサルテーション	・関係者へのコンサルテーション, コラボレーション
㉑人体の構造と機能及び疾病	(1)心身機能, 身体構造及びさまざまな疾病と障害	・解剖学, 生理学	・人体の解剖と生理
㉒公認心理師に関する制度	(3)教育分野に関する法律, 制度	(記載なし)	・義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律<教育機会確保法>
(ブループリント全体)		(…等) という記載	「等」の削除
		Ex. (めまい, 倦怠感, 呼吸困難等)	Ex. (めまい, 倦怠感, 呼吸困難)